

岡山県内で森林を所有されている方へ

# 伐ったら植えよう！再造林

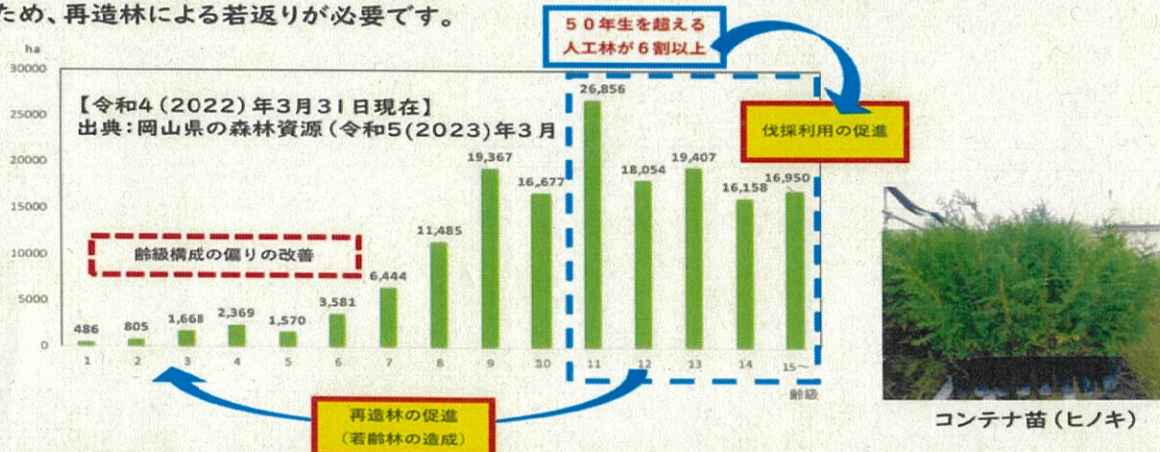
## 再造林はなぜ必要なの？

人の手によって植えられたスギやヒノキなどの人工林を伐採した跡地に、再び苗木を植えることを「再造林」といいます。

森林資源を次世代に繋げるため、「伐って・使って・植えて・育てる」林業サイクルを循環させ、木材生産や土砂災害防止、地球温暖化の緩和などの森林の多面的機能を持続的に発揮させるためにも、「再造林」を計画的に実施することが大切です。

### ■ 岡山県の人工林資源

スギやヒノキを主とする人工林は年々充実しているものの、若い人工林が極端に少なくなっているため、再造林による若返りが必要です。



## 伐採・再造林を行う時は森林経営計画の作成を！

森林経営計画は、「森林所有者」又は「森林の経営の委託を受けた者」等が自ら経営を行うまとまりのある森林を対象に、伐採や再造林などの施業等について作成する5年間の計画です。計画の認定を受けることで国や県から再造林等の支援を受けることができるため、計画の作成をお願いします。

津山市森林組合では、再造林コーディネーター推進員を定め、森林所有者の皆様への再造林の働きかけと経営計画の策定及び補助金等を含む各種支援制度について説明します。

再造林コーディネーター推進員：参事 福田直樹

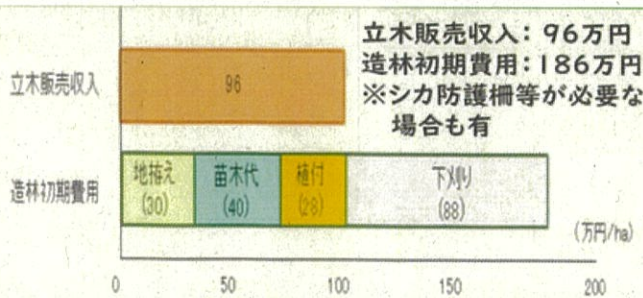
☎0868-23-1283

※ 皆伐・再造林をお考えの方は、必ず津山市森林組合福田まで、ご連絡ください。



# 再造林費用はどのくらい掛かるの？

■ 立木販売収入と再造林費用 再造林費用は主伐による収入を大きく上回る。  
 (造林初期費用は立木販売収入のほぼ倍)



・林野庁業務資料(R2年標準単価より作成)  
 スギ3,000本/ha植栽、下刈5回  
 ・立木販売収入はスギ山元立木価格にスギ10齢級の平均材積315m<sup>3</sup>/haを乗じて算出

## 再造林への支援はあるの？

将来の木材価格の見通しは難しいため、「再造林」をためらうことがあるかもしれません。

このため、当県では、極力、**森林所有者の自己負担無し**で再造林が実施できるよう、一貫作業<sup>※1</sup>や低密度植栽<sup>※2</sup>等による低コスト再造林の普及を図るとともに、再造林に対し**手厚い補助**を実施しています。

※1 主伐(皆伐)と再造林を一貫して行い作業工程を省力化する作業  
 ※2 従来、3,000本/ha程度で植栽していたものを2,000本/ha以下で植栽し、苗木代や植え付け経費等が安価となる作業

① 国・岡山県による補助金  
 最大87%の補助<sup>※3</sup>

② 原木市場による助成金  
 最大150千円/haの助成<sup>※4</sup>

①と②を併用することで、再造林に必要な自己負担を大幅に軽減



岡山県マスコット  
 「ももっち・うらっち」



主伐 再造林 保育



作業区分	補助率	主な補助要件
地拵え、植付、苗木代	68% → 87%	少花粉苗木による低密度植栽
下刈り	68% → 100%	少花粉苗木による再造林地

※3 森林経営計画に基づき、少花粉苗木を活用した低密度植栽(2,000本/ha以下)を行った場合は、県による補助率の嵩上げがあります。(獣害防止柵についても支援があります。)

※4 森林組合を通じて、県森連共販所に出荷するなど、一定の条件があります。

■ 令和6年度 林業サイクル推進コーディネート事業(おかやま森づくり県民税活用)  
 ・岡山県農林水産部林政課森林企画班 ☎086-226-7453  
 ・委託実施機関:岡山県森林組合連合会  
 〒701-1202 岡山市北区樟津491-1 ☎086-236-6530